

第1回 3市共同資源化推進市民懇談会 議事録

日時 平成20年5月19日(月) 午後3時~6時

場所 小平・村山・大和衛生組合3階 大会議室

1.出席者

遠藤委員、小林委員、白水委員、中村委員、林委員、原田委員、近江委員、後藤委員、鈴木委員、霜出委員、平本委員、山岐委員、寺嶋委員

[事務局] 戸井田事務局長、市川課長、片山課長補佐、乙幡主査

[コンサルタント] 2名

[傍聴者] 3名

2.議事

(1)開会

・戸井田事務局長から開会の挨拶

(2)管理者あいさつ

[小林市長] 皆さん、こんにちは。お忙しい中、第1回の市民懇談会に、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。私は、当衛生組合の管理者を務めさせていただいております小平市長の小林正則でございます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。さて、当組合は、ご承知のとおり、小平市・東大和市・武蔵村山市の3市、33万人の廃棄物の中間処理を行っておりますが、施設の老朽化が課題となっております。特に、粗大ごみ処理施設の更新は喫緊の課題であります。一方、廃棄物の発生抑制や資源化につきましては、3市で、それぞれ努力してきたわけですが、共同資源化に向け、体制を整備し、調査を進めてまいりました。現在、廃棄物の処理に当たっては、単に施設を整備するということだけではなく、生産から流通、消費、廃棄に至るまで、資源消費が抑制され、環境への負荷が少ない「循環型社会の形成」を推進していくことが必要不可欠となっております。その意味で、委員の皆様には、私たちの暮らしを見つめ、これから10年後、20年後にどうなるか、どうすることが良い方向なのかという視点で、資源化や処理施設について、積極的なご意見を賜れればと思っております。1年間という短い期間ではありますが、どうぞ、活発なご議論が進みますことを期待しまして、ごあいさつとさせていただきます。

(3)委嘱状の交付

・各委員への委嘱状の交付

(4) 委員の自己紹介

- ・各委員の自己紹介
- ・事務局の挨拶
- ・コンサルタントからの挨拶

(5) 正副座長の選出

[霜出委員] 事務局の方から、案があるのではないかと。

[事務局 (市川課長)] 事務局としては、座長には学識経験者の寺嶋委員、副座長には小平市の廃棄物減量等推進審議会の後藤委員にお願いできればと考えている。

(異議なし)

(6) 会議の進め方について

(市川課長より資料 8 の説明)

[山岐委員] 傍聴の定員が 10 名となっているが、私の住んでいる町内会だけでも、傍聴したいという人が多く、定員が 10 名では少ないのではないかと。

[事務局 (戸井田事務局長)] 事務局としては、10 名を超えると受けられないという趣旨ではなく、会場のスペースの都合上、そのような案としているが、もう一列増やして 20 名程度なら問題ないかと考える。

[寺嶋座長] それでは、20 名程度とすることで良いかと。

(異議なし)

[寺嶋座長] 録音については、事務局が要点議事録を作成するために録音することは問題ないと思うが良いかと。

(異議なし)

[寺嶋座長] 発言者を明記するという点に関しては、委員が発言しにくくなると思われるので、A・B・C というやり方もあるかと。

[山岐委員] 発言に責任を持つ意味で、明記しても良いと思う。

[後藤副座長] 施設がからむと反対する市民も出てくると思うが、要点議事録ということで、1、2 行程度に簡略化した形で書けば、発言の内容がうまく伝わるので、発言者明記にしても良いのではないかと。

[山岐委員] 伝わりにくい部分は、別紙等を添付することで対応すれば良いのではないかと。

[霜出委員] 利害関係が発生すると、反感を受けることも想定されるので、発言者明記には反対である。

[林 委員] 利害関係者が傍聴すれば、発言者がわかるので、発言者明記で良いのではないかと。

[寺嶋委員] それでは、発言者を明記し、要点議事録としてとりまとめ、必要に応じて別紙の資料を添付するというように良いかと。

(異議なし)

- [林 委員] 傍聴者に対して、資料は配布するのか。
- [事務局 (市川課長)] 傍聴者にも同じ資料を配布する予定であるが、冊子のように部数が限られるものは2人で1部を閲覧していただくような場合もある。
- [中村委員] 委員名簿は公開するのか。
- [事務局 (市川課長)] 公開する。
- [後藤副座長] 資料の持ち込みについてはどのような規程にするのか。また、傍聴者について名字だけでなく、氏名を記入することにした方が良いのではないか。
- [事務局 (戸井田事務局長)] 事務局としては、住んでいる市と名字の記入で良いと考えており、フルネームや住所については個人情報となるので、そこまで記入する必要は無いと考えている。
- [寺嶋座長] 持込の資料の是非については、その都度、座長、副座長が判断するというところでどうか。
- (異議なし)
- [後藤副座長] 傍聴者にも責任はあるので、住所、氏名を書いても良いのではないか。
- [近江委員] 国や他の委員会などでも、傍聴者については住所、氏名を明記の上、正副座長の了承の上で入場を認めるのが通例ではないか。
- [中村委員] 委員としては傍聴人の住所、氏名は必要ないと思うが、事務局は把握しておいても良いのではないか。
- [後藤副座長] より開かれた会議で活発な意見が出されるのは良いことだが、会議の混乱を招くようなことは避ける必要があると思う。
- [山岐委員] 開かれた会議とするためには、自由に傍聴していただくことが重要だと思うが、住所、氏名を書く程度は問題ないのではないか。
- [寺嶋座長] 座長権限での退出など、会議の進行を妨げるような行為への対処は、小平市の要綱等に準拠することでどうか。
- [事務局 (市川課長)] 市ではそのような事項について、やり方がいろいろあるようだ。
- [原田委員] 組織としての運営を考えると、一定の歯止めが必要と考える。
- [近江委員] 3市以外の市民が傍聴しても良いということか。
- [事務局 (市川課長)] そのような案である。
- [近江委員] 3市以外の市民が傍聴することは、無責任な発言が危惧される。
- [遠藤委員] 傍聴者は来場した順に決めるのではなく、3市平等にするべきではないか。特に施設の議論になった場合、東大和市民に偏るようなことがあると思う。
- [寺嶋座長] 事前の周知はどのように行うのか。
- [事務局 (市川課長)] 組合のホームページで開催日時を明記すると同時に、先ほど決定した定員についても合わせて周知する予定である。
- [中村委員] そもそも、この懇談会は減量・資源化などのごみのあり方について話し合う場であって、施設建設の是非を問うような性質では無いと理解しているが。
- [近江委員] この資源化の議題は、東大和市に施設を建設することを想定したもので、周辺住民の合意を完全に得ていない現状で、そのような話題は避けられないと思う。

[山岐委員] 施設反対運動をこの場でやりたいわけではなく、周辺住民は十分に説明を受けていないので、現在検討している事業について、ここに来て情報を知りたいと考えている。

[寺嶋座長] 「傍聴者を3市及び近隣の立川市に限定するかどうか」「傍聴の希望者が20名を超える場合は抽選とするかどうか」「氏名を明記するかどうか」の3点について整理したいと思う。

[林 委員] 傍聴者を広く受け入れる事は、他市等の経験者、有識者を迎え入れるなどのメリットもある。

[近江委員] 三多摩地域では、様々な市民団体などがあるので、事前に考慮しておいた方が良いと思う。

[後藤副座長] 傍聴者に氏名を明記してもらうのは大前提であり、立川市だけでなく勉強のために傍聴する他市の市民も受け入れるべきではないか。

[白水委員] 住所までは必要無いとしても、市 町などの地域名や所属団体を書くこととしてはどうか。

[寺嶋座長] 3市の懇談会であるから、3市の市民を対象に氏名と居住している市まで記入することとし、20名以上の希望があった場合は抽選とすることでどうか。

(異議なし)

(7) 議 題

(組合及びコンサルから資料の説明)

[林 委員] 概要版の3ページに「プラスチックの分別が進んだ場合」とあるが、これはどの程度分別が進んだ場合の試算なのか。

[事務局(市川課長)] 本編の51ページに示す内容で、今後の人口増加を踏まえたピーク時の量として施設規模を算定したものである。

[山岐委員] 平成23年度の目標は、平成17年度の実績値とあまり変わらない数字であるが、市民が努力をして、もっと減量していく必要があるのではないか。

[事務局(片山課長補佐)] ご指摘のとおりであり、さらなる減量を目指す必要があると考えているが、ごみの減量化は体質改善のような定性的な側面があり、すぐに効果が現れると判断できる根拠に乏しいと考えた結果である。

[寺嶋座長] 調査報告書に3つのシナリオが想定されているが、この目標値はどのような根拠で試算しているのか。コンサルの方で何か補足はないか。

[コンサル(新井)] こちらの報告書については、組合が昨年取りまとめたものであり、作成に係わっていない我々が、詳細をご説明することはできないが、内容を読む限りでは、現状の数字と今後の可能性を比較・検討した想定値ではないかと思われる。

[小林委員] 概要版の2ページに「密閉構造」、調査報告書39ページに「内部空気をガス洗浄」とあるが、これは活性炭除去のみを想定しているのか。様々な化学物質の影響がインターネット上で問題視されているが。

- [事務局(片山課長補佐)]現状の技術手法としては、活性炭吸着が一般的なものであり、ガス洗浄は中和除去を中心に考えているが、今後の技術開発の動向を踏まえて検討していきたい。
- [寺嶋座長]活性炭吸着は低濃度のもの、ガス洗浄は高濃度のものに対応すると考えていただくとうわかりやすい。高濃度のガスを処理対象とする場合は、ガス洗浄を活性炭吸着の前段に設置して、後段の活性炭吸着により、環境に影響が無いレベルまで吸着・除去できると考えられている。
- [鈴木委員]概要版に3市共同で資源化を行うメリットが示されているが、デメリットは無いのか。
- [事務局(片山課長補佐)]下段の「各市での個別事業のメリット」に整理されている内容が、言い換えると、共同実施ではメリットが少ない内容である。
- [鈴木委員]ごみの焼却について触れられていないが。
- [事務局(片山課長補佐)]この資料は、現在、個別に行っている資源化事業を、共同でやった場合と個別にやった場合のメリットを整理したものである。
- [白水委員]平成10年度までごみが減少しており、その後は現状維持となっているが、その要因はどのようなものなのか。
- [事務局(戸井田事務局長)]容器包装リサイクル法の施行等の影響と、その後の人口増加によってそのような結果となっていることが推察される。
- [中村委員]施設見学会の先進施設は、どこの施設を予定しているのか。
- [事務局(片山課長補佐)]予算の制約上、日帰りで視察が可能な関東圏の施設となるが、委員の皆様のご要望を踏まえて検討する予定である。
- [林委員]調査報告書にある「3市共同検討組織」とこの懇談会の関係はどのようなものか。
- [事務局(市川課長)]3市の副市長、ごみ担当部長等で構成する推進本部を設置し、その下部組織として組合及び3市の職員によって構成される「共同資源化検討部会」と「不燃・粗大ごみ検討部会」の2つの専門部会を設けている。この懇談会との関係としては、委員の意見を踏まえながら、それらの組織で検討を進めていく予定である。
- [山岐委員]化学物質の件について、専門家の意見を伺う機会を設けてはどうか。
- [寺嶋座長]この問題はリスク論についての情報提供が必要だと思う。我々は日常の中で、様々なリスクに直面しているが、そのようなリスクとの比較によって、その許容範囲を捉えていく必要がある。例えば、現在の技術を用いたごみの焼却処理施設から排出されているダイオキシン類の濃度は、タバコの煙に含まれるものよりかなり少ないという知見もある。
- [林委員]タバコは自己責任だが、例え微量であっても外的なリスクを危惧するのは地域住民の権利だと思う。
- [寺嶋座長]もちろん理解している。タバコについては日常のリスクと比較する一例である。
- [寺嶋座長]次回の会議の開催日はどのようにするか。
- [事務局(市川課長)]事務局としては、原則平日の午後とし、詳細は正副座長との協議の上、決定したい。

- [小林委員] 仕事の都合上、土日の午前中に開催していただきたい。
- [山岐委員] 私も土日にしていただきたい。
- [中村委員] 公募の用件の中に、平日の午後とあったので、私は応募したのだが。
- [原田委員] 私も公募の段階で、そのように聞いていたので応募した。土日であると、職務に支障がある。
- [小林委員] 公募の際に、平日に開催することが確定しているのか確認したところ、「懇談会の協議の中で確定する」と説明された。
- [鈴木委員] 個人的にはどちらでも構わないが、土日の方が一般的には休みの方が多いので、傍聴もしやすいのではないかと。土日の開催を基本として、平日開催を混ぜるような日程ではどうか。
- [山岐委員] 都合の悪い場合の代理出席が不可とのことであり、平日の出席が難しいので、懸念していたのだが、4月6日の東大和市での説明会では、変更もありうるようなニュアンスであったので参加した。可能であれば土日にしていただきたい。
- [事務局(市川課長)] 一般的に考えて、委嘱状は個人に交付しているものであり、委員と同等の権限を代理人に与えることはできない。
- [近江委員] 施設候補地近隣の自治会を代表する方が出席できないのであれば、懇談会として問題だと思われる。
- [寺嶋座長] 皆さんの賛同が得られれば土日開催も含めて検討するということではどうか。
- [後藤副座長] 土日は予定が入ることが多く、出席が難しくなる場合が多い。
- [中村委員] 夜間は無理なのか。平日に限らず、夜間の方が傍聴も含めて参加しやすいのではないかと。
- [事務局(市川課長)] 全員の予定が合うということは難しいので、ひとまず次回の予定を決めてはどうか。
- [遠藤委員] 「会議の進め方(案)」にあるように、遅刻や早退も認めてはどうか。
- [寺嶋座長] 全員出席は難しいので、最も出席が可能な委員が多い日に開催することとし、遅刻・早退も認め、出席が難しい場合は、事前配付した資料を確認して、書面等で意見をいただくということではどうか。
- (協議の上、6月9日19:00~で決定)

(8) その他

- [後藤副座長] 次回の資料として、3市それぞれの「分別・収集の状況」「ごみの排出量」「資源回収の量」「集団回収の実施団体数」「ごみ処理に関連する民間事業所」「行政が開催しているイベント」などについて分かるものをお願いしたい。
- [中村委員] ごみ量の変動とその時期に実施した施策等の関係を整理した資料をお願いしたい。
- [林 委員] 各市が現在、委託している処理業者の能力や取り扱うことができるごみの種類に関する資料をお願いしたい。
- [霜出委員] この調査報告書は毎回各自が必ず持参するということが良いか。
- [寺嶋座長] そのようにする。要求された多くの資料については、日程が厳しいので、事務局の方で可能な限り準備するというようお願いする。

[小林委員] 建設予定地の近隣住民は、状況がわからず不安に感じている人が多いので、説明会を開催して欲しい。

[霜出委員] そういった説明会を既に開催したが、出席者が数名しか来なかったと聞いている。全く知らないということは無いのではないか。

[事務局 (市川課長)] 平成 19 年 3 月に調査報告書がまとまった段階で、組合議会で説明し、周辺地域の住民の方を対象に説明会も行っており、昨年 9 月には東大和市の市役所でも行っている。また、組合の広報誌や 3 市の市報でもその案内をしているので、急に立ち上がったということでは無い。

[小林委員] 十分に周知が行き届いていないのが現状なので、説明会の要望があれば対応してもらいたい。

[事務局 (市川課長)] 組合の計画課が担当部署なので、そのようなご要望を寄せていただければ、対応していきたい。

(9) 閉会

3 . 配布資料

- ・資料 1 3 市共同資源化推進市民懇談会設置要綱
- ・資料 2 3 市共同資源化推進市民懇談会委員名簿
- ・資料 3 小平・村山・大和衛生組合の概要 (20 年度版)
- ・資料 4 小平・村山・大和衛生組合 施設配置図
- ・資料 5 私たちのまちの清掃工場
- ・資料 6 小平・村山・大和衛生組合「3 市共同資源化等に関する調査報告書」
- ・資料 7 同概要版
- ・資料 8 市民懇談会の進め方 (案)
- ・資料 9 運営スケジュール (案)